

福岡空港の総合的な調査に係る
ＰＩ活動（ステップ４）の実施状況レポート

実施状況把握を行った者	福岡空港調査ＰＩ有識者委員会委員 竹林 幹雄
-------------	------------------------

日時・場所	日時：平成２０年１０月１４日 １４時～１６時
	場所：福岡市内集会所
ＰＩ活動の種類	懇談会（空港周辺住民等）
所見 （アドバイス等）	所見 1. 空港周辺住民との懇談会であり、参加者はおよそ３０名であった。自治会の代表の方々だと思われ、地元の立場から福岡空港に対する思いを述べられていた。 2. 滑走路拡張による騒音コンターの拡大の有無といった極めて具体的な内容に関する意見交換があった。 3. 懇談会での主たる話題が「交通問題」ではなく、「まちづくり」「都市計画」の範疇に入るものが多いという印象を持った。現段階では都市計画（福岡のマスタープランに関わる）に関わることがらを具体的に説明することは難しいと思われるが、福岡の今後のグランドデザインを考えた上で、こういった質問・疑問にできるだけ具体的に答えられることが望まれる。 4. 需要予測についての説明がやはりわかりにくい印象を持った。需要予測のシナリオの設定などで、専門用語が多数用いられるので、もう少しかみ砕いて説明した方がよい。また、昨今の燃油高騰、世界的不況を加味しているのか、などといった現状認識と、将来需要はどうなるのかといった疑問は至極当然である。説明者側は現状の認識と将来像との関係を明確にするとともに、将来需要が想定している社会像を、できる限りわかりやすく示すことが望ましい。